

山田マシンツール①

「なぜこんな機械を使っているのだろう」。刻印機メーカー・工具商社である山田マシンツール社長の山田雅英は、首をかじげた。顧客の刻印機選びがミスマツチしていることを、たびたび目にしてきた。これに気づいたのは、2008年

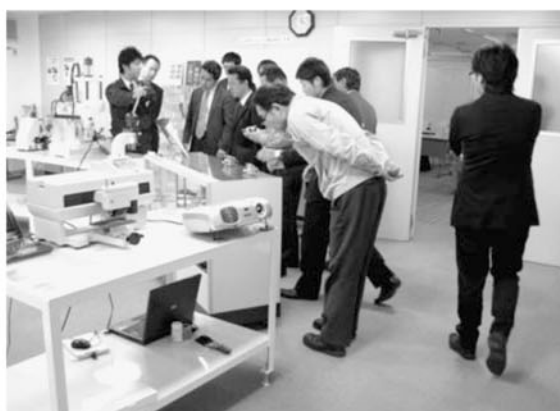
チラシ配りから

刻印機は日付や製造番号などを印字する製造業に欠かせない。用途に応じてさまざまな方法と機械がある。光で印字するレーザーマーカ―、針で印字するエアペン、プリンターのように印字するインクジェット



「仕掛け」でニーズ深掘り

ショールームに他社製品



ト、彫刻機、シールラベラーなどだ。ユーザーはこの中から、仕事にふさわしい

ト、彫刻機、シールラベラーなどだ。ユーザーはこの中から、仕事にふさわしい刻印機に関する総合情報サ

埼玉県に設けたショールームには多くのユーザーが訪れる

▲……………機械を選ばなければならぬ。しかし、用途に見合わない機械を選んでいくことが少なくなかった。

成約率80%

11年、さいたま市の事務所内に刻印機のショールームを開設した。山田はこのショールームに珍しい仕掛けをした。自社製品だけでなく、他社の製品も並べ

これを解消するため、展示会でサンプルを並べてチラシを配ることから始めた。小冊子をつくり、刻印機に関する総合情報サ

社内には「ユーザーはほしい情報だけを収集し、わが社から購入しないのではなか」といった反対の声もあつた。それでも山田は「我々には設計製作できる強みがある。他社製品が選ばれたとしても、搬送装置や治具のニーズは必ずあるから、それを取り込めばいい」と決断した。

この狙いはあつた。ショールームに足を運んだ顧客の成約率は80%を超えた。しかも他社製品の場合も山田マシンツールから購入した。

お客さま目線

山田は「どこ製の機械を購入していくかということよりも、お客さま目線の商

（敬称略）
 ……………
 ▽社長 山田雅英氏 ▽所在地 東京都台東区台東1の23の6、03・3834・5046 ▽資本金 1000万円 ▽売上高 10億円（13年9月期） ▽従業員 45人 ▽設立 1947年1月 ▽URL www.yamada-mt.co.jp/